

まきびと

2020年 社会福祉法人
クリスマス号 牧人會

961-8061 福島県西白河郡西郷村 TEL 0248-25-2046
小田倉字上上野原 158 番地1 FAX 0248-25-3776
振替口座 02160-6-244

クリスマスを迎えるとき、当会の計画と事業活動をご支援ください。



牧人會役員・職員全体のクリスマス燭火礼拝 今年も開催を断念



トーンチャイムの演奏で祝うクリスマス 白河めぐみ学園・同こひつり学園・児童



外出を避け園内の模擬店で楽しむ買物 白河めぐみ学園・児童



定着した1日2回の定時全身体温測定 山形育成園・利用者ど職員

コロナ禍社会に対応した、地域社会に貢献する福祉支援サービス提供を拡充・推進していきます。 理事長 山下 勝弘

クリスマスの挨拶と共に、当会の今年度事業活動内容を報告いたします。

当会は現在、主に知的障がいのある幼児から高齢者までを対象に15種別65事業の福祉支援活動を、福島県、山形県、宮城県3県内の11市町村で実施しています。この地域は2011年に発生した原発事故による放射能被爆、また2019年に台風19号被害を受けた地域が多く含まれています。2020年度これに加えて新型コロナ禍がこの地域でも深刻化しています。

当会ではこの地域社会に貢献できる福祉サービス提供を可能にする以下の活動を重点的に継続して実施しています。

1、コロナ禍社会に対応した福祉サービ

ス提供の実践と充実

相談支援サービス利用者を除く直接福祉サービス受益利用者数は、児童と成人合計で620名になります。

これらの利用者へのコロナ感染対策を重視した福祉支援サービス提供の実践と充実に、関係職員240名がそれぞれの福祉現場で、共に豊かな生活形成を育てる働きに参加しています。

2、地域社会の福祉的需要に応える社会福祉充実計画の実施

地域社会の福祉的需要に応えるために、当会では社会福祉充実計画を策定し、今年度は地域社会から強い要望のある「児童発達支援センター」新設整備活動を福島県東白川郡地域で開始し

具体的な整備用地の検討を開始しています。また利用者の生活環境を改善する設備整備、地域生活を支援するグループホーム整備、相談支援事業等の拡充計画を具体化しています。

3、キリスト教会と連帯した地域に貢献する福祉活動の推進

閉園するキリスト教会付属幼稚園の働きを継承し、宮城県石巻市に開設した「栄光まきびと園」は、幼児療育施設として、着実に地域社会の信頼にえています。

当会は今年度も、キリスト教会と連帯して、地域社会に生活する人々と共生する具体的な活動を推進します。

クリスマスを迎えるとき、ご理解とご支援を心からお願いいたします。

2020年のクリスマス、また2021年を迎える時、心からの感謝をこめて2020年度の当会の活動内容を報告し、みなさまに一層のご理解とご支援をお願いいたします。



コロナ感染対策・苦慮する福祉支援現場 - 新しい生活形成への多様な挑戦 -

新型コロナウイルス予防対策を前提とした福祉支援サービス提供は、福祉現場の大きな課題になりました。当会は現在、児童領域では乳幼児を対象にした児童発達支援センター及び発達支援事業所8施設、障がい児入所施設2施設、その他短期入所事業、日中一時支援事業を運営し、成人領域では障がい者支援施設3施設、就労支援・生活介護施設4施設、グループホーム7ヶ所を運営しています。

コロナ感染対策は、それぞれの福祉現場の状況に対応して策定していますが、現実的に多くの課題に直面しています。関係職員全員で新しい生活形成への多様な配慮と支援活動に努力しています。

期待される幼児療育支援研修 研修開催地域を拡大して継続実施

当会では運営する児童発達支援センターと相談支援事業の機能を連携させて、両親を対象にした幼児療育支援研修セミナーを、福島県の支援を受けて開催してきました。

最初は児童発達支援センター「まきびと」の所在地周辺の福島県西郷村・白河市在住の家族を対象に開催されました。その後福島県内各地からの開催要望があって、最近2回のセミナーは、福島県東白川郡管内で開催されています。参加者も、両親に加え保健師、保育士、行政関係者も参加しています。現在では、他の地域からの開催要望があり、今後は開催地域を拡大して継続して実施する計画が具体化しています。

深刻で広範なコロナ禍の影響 停滞する日常活動・事業計画

今回のコロナ禍の影響は、当会の提供する福祉支援サービス利用者の日常生活と活動に多くの制約を与え、共に、予定していた社会福祉充実計画実施に悪影響を与えています。

昨年度予定の障がい者支援施設「はなわ育成園」浄化槽設備更新工事は今年10月に着工しましたが、「あだたら育成園」旧園舎改修工事その他の予定事業はすべて実施が遅滞しています。

現在は特に、地域の福祉的需要に応える事業を優先して、予定した事業実施の推進に努力しています。

コロナ禍への挑戦 新製品の開発・販売を開始

当会が運営する就労支援関係施設では、コロナ禍の影響で生産販売活動が制約されていますが、その環境下で新しい活動を開始しています。**あだち共労育成園**は、縫製作業では「布マスク」、木工作業では「家具調飛沫防止立」を製造し販売を開始して好評です。**須賀川共労育成園**は野外作業を強化して「へちま水」増産に取り組み、**寒河江共労育成園**は受託作業が減少した時間に利用者の技能UP訓練を行い、新製品開発を進めています。

3施設共にコロナ禍に挑戦して、新しい生活様式に対応した就労支援活動を育てる努力をしています。



社会福祉充実計画を拡大 地域福祉拠点センター整備具体化へ

当会では、2021（令和3）年度からの新規事業として、福島県東白川郡（埴町・棚倉町・矢祭町・鮫川村）地域を対象に地域福祉拠点センター整備事業を具体化する準備を開始します。

この事業はすでに展開している相談支援事業と児童発達支援事業を統合化したセンターを新規に整備し、同時に障がい者支援施設「はなわ育成園」と連携して、この地域在住の対象となる幼児から高齢者まで地域生活の充実と向上を支援することを目的としています。

この事業は当会の社会福祉充実計画の拡大で、実施にむけて関係町村はじめ関係機関と具体的な協議を開始し準備を進めています。

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で 当会の木工生産製品を、ご利用ください



当会の関係福祉施設のユニークな製品に、木工製品があります。これらの製品は、仙台市にある日本キリスト教団東北教区センター「エマオ」でも、常設展示されています。木工製品は、各種「十字架」



を始めとするキリスト教会用家具、用品、高品質の各種積木、木製玩具その他木馬、幼児用机・椅子、福祉施設用家具などが中心です。

詳細は当会のホーム・ページをご参照ください。ぜひご用命、ご利用ください。

写真左上 「十字架」。写真上 新製品、家具調飛沫防止立（15,000円 縦50センチ 横180センチ 幅35センチ 各種注文に応じて製作可）。その他、長期間のベスト・セラー製品の「各種保育園・幼稚園児用テーブル・椅子」「木製積木」「木製玩具」等も、ご注文、ご利用ください。

牧人会後援会にご参加ください

感謝と報告

後援会会長 定家 修身

牧人会後援会は1971（昭和46）年に社会福祉法人牧人会設立とともに正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動の目的と内容は、社会福祉法人牧人会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。

2019年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額

は4,387,346円で、これは個人会員と団体会員をあわせて473会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、3,500,000円を2019年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2019年度は特に、社会福祉法人牧人会が実施した社会福祉充実計画関係の老朽建物、設備更新整備、研修事業、新規事業調査等を中心に支援をしました。

2020年度も引き続きみなさまのご理解、ご加勢、ご配慮と共に、いっそうの後援会活動へのご参加とご支援を、クリスマスを迎える時、心からお願いいたします。（協賛広告）

白河めぐみ学園
Tel 0248-25-2046

白河こひつじ学園
Tel 0248-25-2055

あだたら育成園
Tel 0243-48-3111

須賀川共労育成園
Tel 0248-76-4155

あだち共労育成園
Tel 0243-48-3113

はなわ育成園
Tel 0247-43-3891

山形ひかり学園
Tel 023-672-2377

寒河江共労育成園
Tel 0237-86-7625

山形育成園
Tel 023-673-2575

すぎのこ園
Tel 0247-43-4391

児童発達支援センターまきびと
Tel 0248-25-0869

泉崎村障がい者支援センター
Tel 0248-53-3618

発達支援センターあだたら
Tel 0243-22-2800

相談支援センターこひつじ
Tel 0248-25-2055

まきびとの家
Tel 0248-25-2046